

医療的ケア児支援センターを設置し、医療的ケア児及びその家族に対する支援体制を整備します

福祉局福祉部障害福祉課
 医療療育支援室
 重症心身障害児者支援グループ
 内線 3237・3501
 (ダイヤル)052-954-6629

予算額 49,720千円(新規)

地域における医療的ケア児及びその家族に対する支援体制を専門的・広域的に支えるため、愛知県医療療育総合センターを始めとした県内7か所に医療的ケア児支援センターを設置します。

【基幹支援センター】・・・医療的ケア児に対する支援の中核的な機関

①愛知県医療療育総合センター(春日井市)〈地域支援センターを兼務〉

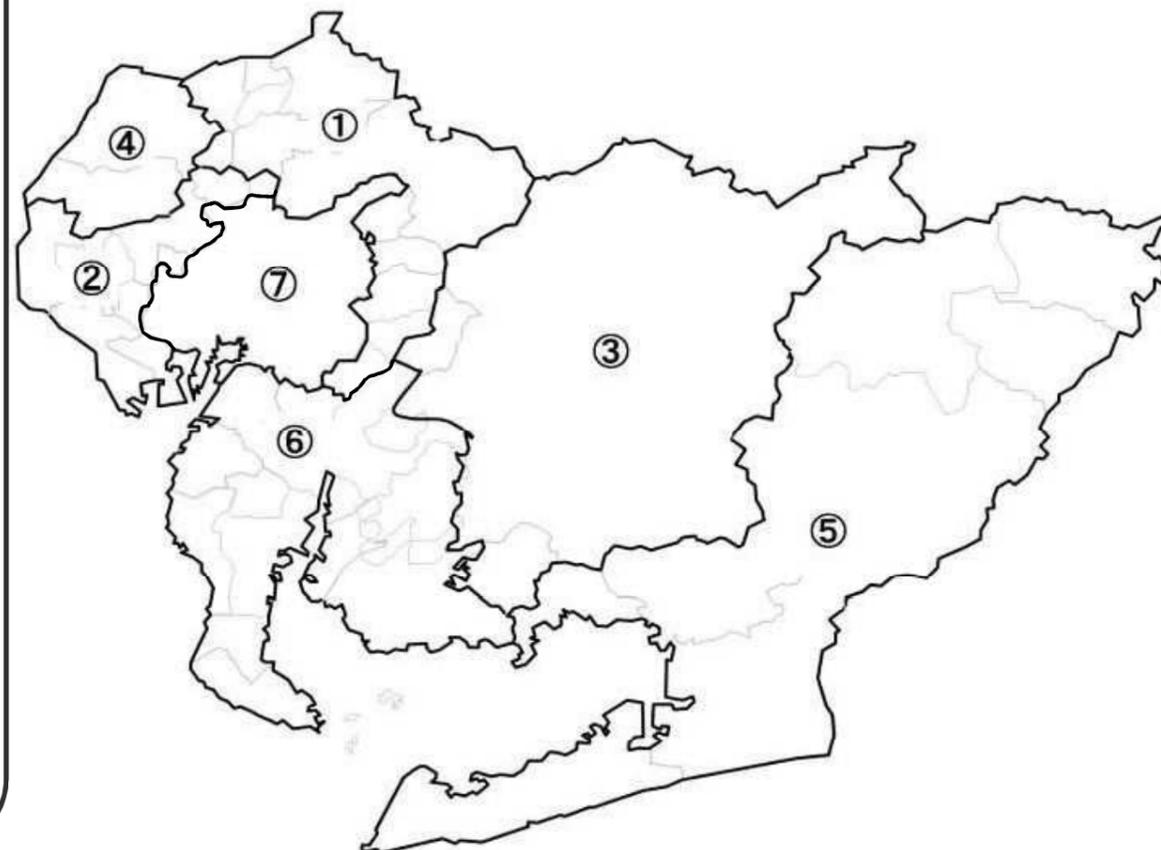
- ・高度で専門性が必要とされる相談への対応
- ・看護師、介護職員等への専門的な研修
- ・医療的ケア児支援に関する情報を発信するウェブサイトの作成

【地域支援センター】・・・地域の実情に応じた支援の実施

- ②愛知県青い鳥医療療育センター(西区)
- ③愛知県三河青い鳥医療療育センター(岡崎市)
- ④一宮医療療育センター(一宮市)
- ⑤信愛医療療育センター(豊川市)
- ⑥重心施設にじいろのいえ(東海市)(2022年秋開所予定)
- ⑦大同病院(南区)

- ・市町村では対応困難な相談への対応
- ・医療的ケア児を受け入れるための障害福祉サービス事業所等に対する訪問研修の実施
- ・地域内の関係者連絡会の開催、市町村の協議の場へ参画

＜医療的ケア児支援センターの担当圏域＞



関連事業

医療的ケア児等コーディネーター養成研修・フォローアップ研修の実施、医療的ケア児等アドバイザーの派遣

障害のある人が身近な地域で安心して暮らせるよう支援します

予算額 638,622千円

福祉局福祉部障害福祉課
事業所指導グループ
内線 5373・5374
(ダイヤル)052-954-7400

1 障害者施設設置費補助金 618,829千円

障害のある人が身近な地域で暮らすことができるようグループホームや障害児者施設の整備費に対して助成します。

- ・グループホーム、障害児者施設 18施設

2 障害者地域移行推進事業費 19,793千円

○ 共同生活援助事業所の世話人の確保

- ・グループホームの世話人確保のため、世話人の仕事紹介や仕事体験を実施します。

○ 地域生活を体験する機会の提供

- ・施設入所者等が地域生活を具体的にイメージできるよう、地域のグループホーム等を活用した体験事業や出前講座を実施します。

○ 障害者の新たな仕事の創出

- ・障害者の工賃等の向上のため、企業と就労継続支援事業所等をマッチングし、新たな受注や仕事を生み出す取組を実施します。
- ・企業と芸術的な才能がある障害者をマッチングし、障害者雇用へつなげる取組を実施します。

[障害者福祉事業所で生産された商品(例)]



足踏み式消毒スタンド

障害のある人の社会参加と障害への理解促進を図ります

福祉局福祉部障害福祉課
社会参加推進グループ
内線 3239・3497
(ダイヤル)052-954-6697

予算額 47,828千円

1 障害者コミュニケーション手段利用促進費

34,422千円

◆意思疎通支援者の養成・派遣

障害のある人が社会の構成員として地域の中で安心して生活を送ることができるよう、意思疎通支援者の養成や派遣などを行います。

- ・手話通訳者や要約筆記者等の意思疎通支援者の養成・派遣
- ・頸肩腕障害予防のための健康診断や健康管理講座の実施

◆障害の特性に応じたコミュニケーション手段に関する普及啓発

障害に対する理解や配慮についての普及啓発を図るため、県民向けに障害の特性に応じたコミュニケーション手段についてのセミナーを開催します。

2 ヘルプマーク普及促進事業費

516千円

◆ヘルプマークの普及促進

義足や人工関節を使用している人等、援助や配慮を必要としていることが外見からは分かりにくい人々が、配慮を必要としていることを周囲の方に知らせるための手段となる「ヘルプマーク」の普及を促進します。

- ・普及啓発リーフレット等の作成、配布
- ・市町村と連携したヘルプマークの作成、配布



ヘルプマーク

3 障害者芸術文化活動推進事業費

12,890千円

◆あいちアール・ブリュットの推進

「あいちアール・ブリュット障害者アーツ展」を通して、障害のある人の社会参加と障害への理解促進を図ります。

- ・作品展、舞台・ステージ発表、トークイベント等を開催
- ・芸術系大学の教員等が障害者支援施設等を訪問し、造形活動の指導を行う出前講座の実施
- ・あいちアール・ブリュット展の三河地域でのサテライト開催の実施



ロゴマーク

◆障害者の芸術活動を支援する人材の育成

障害のある人の創作・表現活動を支援する人を育成します。

- ・施設職員等が企画、運営する作品展の開催
- ・著作権や支援方法に関する研修会の開催 等



「愛知・つながりプラン2023」に基づき、 特別支援教育を充実します

予算額 3,097,583千円
(外に債務負担行為 3,944,978千円)

とりまとめ
教育委員会特別支援教育課
指導グループ 内線 3932・3933
(ダイヤル)052-954-6798

2018年12月に策定した「第2期愛知県特別支援教育推進計画(愛知・つながりプラン2023)」に基づき、特別支援学校の整備を進めるとともに、児童生徒に対する支援体制を強化します。

1 千種聾学校ひがしうら校舎整備費 1,449,934千円

知多地区から聾学校に通う幼児児童の長時間通学を解消するため、聾学校分校設置に向けた建設工事を行います。

○ 場 所：知多郡東浦町大字生路地内
(県立東浦高等学校敷地内)

○ 開校予定：2023年4月

2 岡崎特別支援学校移転整備費 911,790千円 (外に債務負担行為 3,944,978千円)

学習環境の改善や立地上の課題を解消するため、移転に向けた建設工事を行います。

○ 現 在 地：岡崎市本宿町

○ 移 転 先：岡崎市美合町地内(県立農業大学校敷地内)

○ 開校予定：2024年4月

3 心豊かな児童生徒育成推進事業費 14,718千円

児童生徒の心のサポート体制を充実させるため、特別支援学校にスクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーを配置します。

○ スクールカウンセラーの配置 5人

○ スクールソーシャルワーカーの配置 2人

4 就労支援推進事業費 14,921千円

民間企業と連携したテレワークによる就労等を推進し、高等部生徒の就職率の向上を図るため、実習先や就職先を開拓し、就労につなげる就労アドバイザーを増員します。

○ 就労アドバイザーの配置 4人 → 5人

5 スクールバスの増車 706,220千円

にしお特別支援学校の開校及び岡崎聾学校への送迎に伴う保護者負担軽減のため、5台のバスを増車します。

また、新型コロナウイルス感染症の感染リスク低減を図るため、スクールバスの増車による対応を継続します。

<参考>

看護師による医療的ケア実施体制の充実

医療的ケアが必要となる児童生徒に適切なケアを行うため、看護師を増員します。

○ 常勤看護師の配置 9人 → 14人

○ 非常勤看護師の配置 76人 → 85人

愛知から障害者スポーツを盛り上げます

予算額 22,155千円

スポーツ局 競技・施設課
障害者スポーツグループ
内線 3972・2287
(ダイヤルイン)052-954-7472

愛知から障害者スポーツを盛り上げ、スポーツを活かした共生社会をリードしていくため、有識者や関係団体等の意見を踏まえた取組を進めます。

障害者スポーツ推進事業費

【土台づくり】

- あいち障害者スポーツ連絡協議会の開催
県、パラアスリート、スポーツ団体、経済団体、医療関係者等による連携体制を構築

【普及啓発】

- ポータルサイトの運営
スポーツ大会やイベントの情報、スポーツ施設のバリアフリー情報などを広く発信・共有

【交流促進】

- 地域で障害者も参加できるスポーツプログラムの実施
総合型地域スポーツクラブを活用して健常者と障害者の交流を促進
- 障害者スポーツ交流イベントの実施（新規）
誰もがスポーツを通じて交流を深められるイベントを開催

【機会創出】

- 地域や医療機関でのスポーツ体験機会の創出（新規）
ボッチャ等の競技用具を総合型地域スポーツクラブやリハビリ施設等へ貸出

【人材育成】

- スポーツ指導者への障害者スポーツ勉強会・体験会の実施
地域における障害者スポーツ推進のキーパーソンを育成
- あいちパラスポーツサポーターの育成（新規）
障害者スポーツを理解し応援するサポーターを育成し認定
- 若手指導者の確保（新規）
障害者スポーツ指導員の資格を取得予定の学生を対象に事例発表会や指導体験会等を実施
- 指導者のリ・スタート支援（新規）
活動を再開しようとする障害者スポーツ指導員を対象に学びなおしの場としてセミナー等を実施